

四国歯学会 第53回例会・第37回総会 プログラム

日時:2018年7月5日(木)16:25より

会場:徳島大学歯学部大講義室(4階)

四国歯学会

- ※ 日本歯科医師会生涯研修事業の3単位に認定されております。
- ※ 大学院先端口腔科学特論の時間数に含まれます。履修手帳をご持参下さい。

連絡先

四国歯学会学術担当

徳島大学 大学院医歯薬学研究部 口腔科学部門 臨床歯学系

小児歯科学分野

岩本 勉, 赤澤 友基

TEL 088(633)7359

E-mail: akazawa.yuki@tokushima-u.ac.jp

ポスター閲覧・討論

15:00 - 16:20 ポスター展示
15:50 - 16:20 ポスター討論

四国歯学会第 37 回総会

16:25 開会の辞 河野文昭 会長
16:30 - 16:50 総会

四国歯学会第 53 回例会

ポスター発表

座長 馬場麻人

16:50 - 17:00

P-1 馬蹄腎の一例についての肉眼解剖学および組織学的観察

○ 金城聡一郎¹, 松本 晋¹, 藤田創詩², 角田佳折³, 守田 剛³, 神尾強司³,
馬場麻人³

¹歯学部歯学科 4 年生 ²歯学部歯学科 3 年生

³徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面形態学分野

P-2 歯科放射線科の撮影検査数の推移

— 口内法枚数と口外法件数 —

○ 吉原穂積¹, 細木秀彦¹, 吉田みどり¹, 久米芳生², 音見暢一^{2,3}, 天野雅史²,
湯浅将生², 山田健二², 水頭英樹¹, 前田直樹¹, 川田直伸², 原田雅史^{2,3},
菅田栄一^{1,2}

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部歯科放射線学分野, ²徳島大学病院放射線部,

³徳島大学大学院医歯薬学研究部放射線医学分野

教授就任講演

座長 河野文昭

17:00 - 17:30 口腔バイオフィルム感染症における病原因子

○ 湯本浩通

徳島大学 大学院医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野

基礎系教育講演

座長 水澤典子

17:30 - 18:00 天然ハーブの有用性

— 歯科の領域を中心として —

○ 三木かなめ

徳島大学 大学院医歯薬学研究部 予防歯学分野

臨床指導講演

座長 大島正充

- 18:00 - 18:20 子どもの健口を考える
—笑顔が躍るとくしまのため—
○北村尚正
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 小児歯科学分野
- 18:20 - 18:40 ヘルペスウイルス感染症と抗ウイルス薬
○伊賀弘起
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 口腔保健教育学分野

一般講演

座長 岩本 勉

- 18:40 - 19:10 当院栄養サポートチームにおける歯科医師連携の現況
○高野栄之¹, 宮本由貴¹, 福井 誠², 玉木直文², 伊藤博夫²,
東 雅之^{1,3}
¹徳島大学病院口腔管理センター,
²徳島大学大学院医歯薬学研究部予防歯科学分野,
³徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔内科学分野
- レジンの3次元測定方法による寸法精度の比較
○松田はるか¹, 鈴木善貴², 鴨居浩平³, 大川敏永⁴, 吉原靖智⁵,
安田 想⁶, 大倉一夫², 大島正充², 安陪 晋⁴, 富永 賢³,
河野文昭⁴, 松香芳三²
¹歯学部歯学科4年生,
²徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野,
³徳島大学病院技工室,
⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部総合歯科学分野,
⁵徳島大学病院卒後臨床研修センター, ⁶歯学部歯学科3年生
- ストレス負荷による唾液分泌量と成分変化
○川西 毅¹, 田原 岳¹, 玉木直文², 福井 誠³, 伊藤博夫²
¹歯学部歯学科3年生,
²徳島大学大学院医歯薬学研究部予防歯科学分野,
³徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健衛生学分野

19:10 表彰式 河野文昭 会長

19:15 閉会の辞 北畑 洋 副会長

注意事項

● ポスター発表について

- ・ポスターの大きさ 横 90cm×縦 130cm

演題番号(横 20cm×縦 20cm)は大会側で用意(左端)

演題名・発表者名(発表者の前に○印を記入)・所属は、演題番号の右側の横 70cm×縦 20cm の範囲に記載

- ・進行について

14:45－15:00 ポスターおよび発表用スライド受付
(発表者は受付をし、ポスターを所定の位置に掲示してください。また、発表のスライドを USB に入れたものを提出してください。)

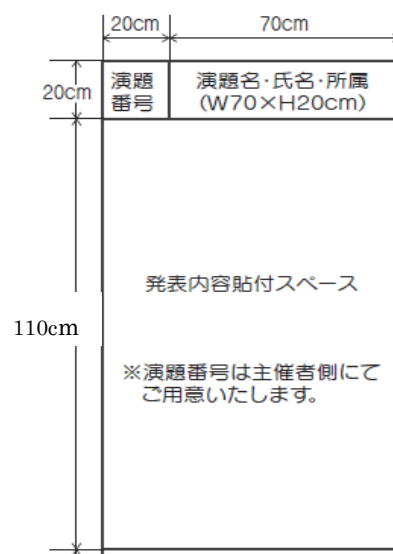
15:00 －16:20 ポスター閲覧

15:50 －16:20 ポスター討論

(発表者はリボンをつけて、ポスターの前に立ってください。この時間は、閲覧者の質疑応答に答えてください。)

- ・尚、ポスター発表者は、ポスター討論とは別に例会において、2 分間ポスター発表を行っていただきます。そのため、2 分間で簡潔にまとめたスライドも準備し、受付時に提出してください。発表は進行の都合上、2 分で打ち切らせていただきます。その後、1-2 分の質疑応答に答えていただきます。

- ・発表者の中から優秀発表賞を選考し賞します。



- 特別講演は 講演時間 30 分とします。

- 基礎系教育講演は 講演時間 20 分、討論時間 10 分とします。

- 臨床指導講演は 講演時間 15 分、討論時間 5 分とします。

- 一般講演は 発表時間 8 分、討論時間 2 分とします。

- 講演、発表方法について

- ・発表は液晶プロジェクター、単写とします。
- ・Microsoft 社の Power Point を用いてスライドを作成してください。
- ・コンピューター (Windows PC と Mac) は発表者が御用意下さい。
- ・当日の 6 月 29 日 (木) 14:00～15:00 の間に、動作確認を行ってください。

- 講演、発表後に 400 字程度の抄録をメール(akazawa.yuki@tokushima-u.ac.jp)にご送付下さい。